

あふれる熱気で安倍政権の暴走ストップの決意みなぎる

東京夢の島公園が参加者でびっしり

第41回 赤旗まつり

11月1～3日、東京夢の島公園を会場に、第41回赤旗まつりが開かれ、全国からの15万人を超える参加者で、政治転換の決意がみなぎりました。上越からも、40人近くの市民が参加しました。

日本と世界の未来を考え、一級のアーティストの演奏や芸を満喫し、全国の名産品を味わえる「新しい日本の祭り」赤旗まつりは、連日会場びっしりの全国からの参加者でにぎわいました。上越からも、40人近い人たちが参加し、記念講演、青空寄席、全国物産展などで楽しみました。党議員団からは、平良木議員が上越地区からの責任者として参加しました。

このうち、2日は、時おり陽光が差し心地よい秋風が吹く絶好の天候で、全国からの約8万人の人たちで、会場は熱気に包まれました。

午後は、野外ステージを立すいの余地もないほど埋め尽くした参加者を前に、志位和夫委員長が、「この党を大き

くすることに日本の未来はかかっている」と題して、記念の演説を行いました。志位さんが、「いっせい地方選、国政選挙に勝利し日本の政治の希望ある未来を開こう」と呼びかけると、割れんばかりの拍手と歓声があがりました。

志位さんに続いて登場したゲストの八代亜紀さんは、たくさんの聴衆を見て、「すごい人。こんにちは。私、晴れ女なの」と話し、ジャズや「舟唄」などを熱唱し、大きな喝采を浴びました。歌い終えた八代さんが「一緒にがんばろう。元気でね」と繰り返し聴衆に声をかけると、大きな拍手が沸きました。

また、この日は、山下芳生書記局長により衆議院比例候



補者(第一次)19人が発表され、来春のいっせい地方選挙の候補者とともにステージに勢ぞろいしました。上越市では、橋爪法一議員団長を先頭に、安倍政権の暴走政治をストップさせ、市政・県政を変えるたたかいを展開しています。橋爪団長は同じ日に東京で開かれた「吉川ふるさと会」への出席のため、ステージには立ちませんでした。全力を尽くしてがんばる決意を新たにしました。



「上越市教育の日」制定を記念し式典と講演会

昨年12月の市議会文教経済常任委員会で、「11月1日を上越市教育の日とし、今年4月1日から施行する」という内容の市教委規則案などが了承されましたが、これらをあらためて確認し宣言する上越市教育の日制定記念式典が、1日、上越文化会館で行われました。

式典では、中野敏明教育長が、「上越市教育の日」の合言葉として、「笑顔であいさつ、美しい言葉遣いに心掛けよう」「やさしい心を持ち、人や社会のために尽くそう」「正しい心を持ち、約束やきまりを守ろう」「規則正しい生活をし、心と体を鍛えよう」「ふるさとを愛し、夢・

志をもと」の五つを提案。会場を埋めた市内PTA連絡協議会や教育の日制定にかかわった関係者など、たくさんの人たちからの大きな拍手で確認されました。

続いて「上越市教育の日シンボルマーク」が村椿正子教育委員長から発表され、公募の応募者の中から、最優秀賞として、富岡小学校5年生の道市陽菜さんが表彰されました。

続く記念講演は、「尾木ママ」こと教育評論家の尾木直樹さんが、「尾木ママ流 共感子育て」と題して講演。「つらさへの共感が大事。共感の子育

て、信頼・安心感が大切」と、独特の話しぶりで参加者をくぎ付け付けにしながら、楽しくわかりやすく語りました。



講演のあとの佐藤上越教育大学長の閉会挨拶

日本共産党上越市議員団ニュース

No.434 2014年11月9日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)